

WEEKLY REPORT

【例会場・事務局】

〒197-0832 東京都あきる野市上代継600
東京サマーランド スポーツクラブハウス
TEL.042-533-3992 FAX.042-533-3993

Rotary

第2580地区



よいことの
ために
手を取りあおう

東京秋川ロータリークラブ

2025-26年度 16号

2026年1月8日

第2433回例会

出席報告	会員	出席	欠席	免除	出席率
	40	31	9	0	77.5%

本日のテーマ

「新年初例会」全員協議会

次回以降のプログラム

1月15日(木) 取り止め

1月22日(木) 例会

1月29日(木) 取り止め

第2432回の出席率訂正 会員40名 出席21名 メークアップ13名 欠席6名 免除0名 訂正出席率 85.0%

会長方針

皆の力で魅力的なクラブへ！

会長報告 山下 克己 会長

- 東京ワセダロータリークラブの中島 弘人 氏が、2028-29年度当地区ガバナーに決定した旨の報告があった。
- 山下年度も残り半年となるため、引き続き会員各位の協力をお願いしたい旨の挨拶があった。



幹事報告 高橋 和宏 幹事

- 2026年1月の国際ロータリーレートは、1ドル156円である旨の報告があった。
- 東京目白ロータリークラブが1月21日(水)にオープン例会を開催する案内があった。講師として、テレビ出演でも知られる元埼玉県警捜査一課の佐々木氏が講演予定であり、参加希望者は事務局または幹事へ連絡することとされた。
- 西多摩地域の新聞に、東京秋川ロータリークラブの記事が掲載された旨の報告があり、新聞の配布案内があった。
- 本日の例会終了後、下半期会費納入の案内を送付する旨の説明があった。
- 2月実施予定の移動例会案内が完成しており、例会終了後に配布する旨の報告があった。
- 新入会員申込みのあった栗原氏について異議がなかったため、1月22日(木)に認証式を行う予定であることが報告された。



委員会報告

○I・M実行委員会

岡部I・M実行委員長より、5月21日(木)に多摩グループ合同例会 I・Mを開催する旨の案内があった。
麻沼ガバナー補佐、坂谷グループ幹事と連携しながら準備を進めていくため、会員各位へ協力の要請があった。



岡部 道明 君



乙戸 康博 君

会員より

- 乙戸 康博 君より、昨年12月21日の母堂葬儀に際し、多くの会員に会葬および供花をいただいたことへの御礼が述べられた。

今月のお祝い

会員誕生

山田 宗孝 君 昭和15年1月2日
岡部 道明 君 昭和25年1月12日
高橋 和宏 君 昭和51年1月10日

パートナー誕生

松村 明子 様 1月11日
佐藤 美緒 様 1月4日
今田 友紀 様 1月28日
植松 真理 様 1月9日

皆出席

12年 岡野 悦史 君
7年 坂谷 充孝 君
5年 柳 新次 君
4年 高橋 和宏 君
4年 小倉 篤高 君
3年 今田 一範 君

在籍記念

5年 柳 新次 君



本人・パートナー誕生祝い



皆出席祝い

— SAA委員会 — ニコニコ 発表

合計金額 **101,000円**

- ・山下 克己 会長 新年おめでとうございます。昨年は色々のご協力頂きありがとうございました。本年も宜しくお願いします。
- ・高橋 和宏 幹事 本年も宜しくお願いします。皆出席祝い・本人誕生祝いをいただいて。
- ・平宮 力夫 君 おめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。
- ・松村 博文 君 あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願いします。妻誕生祝いをいただいて。
- ・岡部 道明 君 本年も宜しくお願いします。誕生祝い頂いて、有難うございます。
- ・岡野 悦史 君 皆出席12年をいただいて
- ・坂谷 充孝 君 5月21日多摩グループ合同例会に向けて、全会員のご協力をよろしくお願い致します。
- ・乙戸 康博 君 母親の葬儀に参列頂き有難うございました。今年もどうぞよろしくお願い致します。
- ・山田 宗孝 君 本人誕生祝いをいただいて。
- ・井上 文喜 君 本年もよろしく。
- ・植松 一良 君 あけましておめでとうございます。
- ・今田 一範 君 皆出席3年、妻誕生祝いをいただいて。
- ・佐藤 旭克 君 妻誕生祝いをいただいて。
- ・麻沼 恵 君 今年も宜しくお願いします。

会計報告

- ・会計より、上半期終了時点における収支状況の説明があった。
- ・一般会計収入は、当初予算比でやや増加しており、登録料計上漏れ等が要因である旨の説明があった。
- ・支出は予算内で推移しており、会長・幹事をはじめ会員の協力により、会運営が堅実に行われているとの報告があった。
- ・ニコニコボックス収入は前年対比130%増となっている旨の説明があった。
- ・会員増強については、今年度目標5名に対して現時点で3名となっており、引き続き協力要請があった。

全員協議会

- 上半期の振り返りとして、山下会長より、幹事交代というアクシデントがあった中で高橋幹事の尽力に感謝する旨、また、ガバナー公式訪問やクリスマス例会などを無事終えられたことへの謝意が述べられた。
- 高橋幹事より、出席率向上という成果があった一方で、例会回数減少により会員同士が顔を合わせる機会が減ったことは反省点であるとの発言があった。今後も地区大会、移動例会、合同例会 I・M等を通じ、コミュニケーションの機会を確保したい旨が述べられた。
- 次年度町田会長より、次年度の組織表および年間例会予定表(案)をもとに、例会回数のあり方について各テーブルで協議してほしい旨の説明があった。
- 各テーブルから出された主な意見は次のとおりであった。
 - ・木曜日を例会日として意識している会員が多く、可能であれば毎週開催した方がよい。
 - ・例会は情報交換・交流・委員会活動・卓話の機会として重要であり、回数減少は寂しいとの意見が多かった。
 - ・経費面に課題がある場合は、弁当なし例会等によるコスト削減も検討できる。
 - ・卓話の機会が減っているため、ロータリーらしさの観点からも一定回数は確保した方がよい。
 - ・地区役員等を務める会員は木曜日に他行事と重なることがあり、代替や振替の考え方も整理が必要である。
 - ・例会回数を減らすことにより、若い世代や多忙な経営者にとって参加しやすくなり、拡大につながる可能性がある。
 - ・毎週開催と月1回開催の双方の意見があり、中間案として「最低でも月3回程度」が妥当ではないかとの意見もあった。
 - ・出席率だけでなく、年間を通じて延べ何人が集まり、どの程度コミュニケーション機会が確保されたかという視点でも評価すべきではないかとの提案があった。
 - ・振替例会が増えると、通常の木曜例会場での開催がない月が生じるため、木曜日の例会を基本にした運営を望む意見があった。
 - ・規定上の「取りやめ」と実質的な回数削減の整理については、必要に応じて規定改正も含め正面から議論すべきとの意見があった。
- 協議内容は取りまとめのうえ、後日会員へ共有し、理事会にて次年度の例会回数等を検討することとなった。



◆編集 週報委員会 担当 新井 悠央